

**平成 27 年度 第 2 回 ISO/TC46/SC11 国内委員会  
議事録**

- 1 日時 :平成 28 年 01 月 22 日(金曜日) 14:00-16:00
- 2 場所 :情報科学技術協会会議室 (東京都文京区小石川 2-5-7 佐佐木ビル 4 階)
- 3 出席者  
:委員
- |        |  |
|--------|--|
| 保坂 裕興  | 学習院大学(SC11 リーダ)                          |
| 西川 康男  | ARMA International 東京支部                  |
| 榎林 幸一  | 公益社会法人日本文書情報マネジメント協会                     |
| 伊東 敦子  | 国立図書館                                    |
| 中島 康比古 | 独立行政法人国立公文書館                             |
| 黒田 裕芳  | 株式会社リコー                                  |
| 長谷川 英重 | OMG アンバセダ(TC171 リエゾン) 議題 6) 7) 8) 9) (記) |
| 寺下 陽介  | 株式会社 東芝 議題 1) 2) 3) 4) 5) (記)            |
- :事務局
- |       |                |
|-------|----------------|
| 光富 健一 | 一般社団法人情報科学技術協会 |
|-------|----------------|

(敬称略・順不同)

- 4 配布資料 平成 27 年度第 2 回 ISO/TC46/SC11 国内委員会  
(36 ページ冊子 別紙 ワークシート案)

5 議事

事務局から配布された上記配布資料の確認を行い、保坂リーダにより議事を進行する。

- 議題内容
- 1) 平成 27 年度実施計画書について (資料 1)
  - 2) デジタルアーカイブの利活用に関する国際標準化について (資料 2)
  - 3) デジタルアーカイブにおいて原資料を管理するための識別子について (資料 3)
  - 4) デジタルアーカイブ利活用のための記述に関する  
標準化委員会(WG1)発足について (資料 4)
  - 5) 平成 27 年度 ISO/TC46/SC11 投票報告 (資料 5)
  - 6) 平成 27 年度 ISO/TC46/SC11 投票審議案件 (資料 6)
  - 7) 2016 年 ISO/TC46 ニューゼaland総会(2016/5/9-13)について (資料 7)
  - 8) 今後の標準化について (資料 8)
  - 9) その他

#### 5-0)議事録の確認

配布資料に添付された平成 27 年 7 月 28 日(火曜日)10:00~12:00 に開催された第 1 回国内委員会の議事内容を確認し、承認された。

「修正箇所」出席者(敬称略) 中島康比彦→中島康比古(氏名の誤植を修正)  
議事録 5)に記載された長谷川委員からご提案されたワークシート作成について、(別紙 8)が配布され、「ワークシート案」と「今後の運用」について、本委員会 9)その他で議論することとした。

#### 5-1) 平成 27 年度実施計画書について(資料 1)

事務局より、(資料 1)をもとに、実施計画の「目的」「実施方法」「実施体制」「スケジュール」についてご説明をいただく。本内容にて、3年間で推進していくことを確認した。本委員会 SC11 は、具体的な活動として、投票案件の対応を行うことで、デジタルアーカイブ国際標準化活動のための環境整備に貢献していくことを共通認識とする。

#### 5-2) デジタルアーカイブの利活用に関する国際標準化について(資料 2)

本委員会の開催日が、保坂リーダのご予定調整前に確定していたため、ご出席いただいた事務局より、(資料 2)をもとに、議事のご報告をいただく。

「デジタルアーカイブの利活用のための国際標準化」に向けては、一般公開されたコンテンツの二次利用に関する考え方が重要であることが確認された。

ISO/TC46 国内委員 菅野 育子委員長の報告書、発表資料(Description of copyright specification I digital archives for libraries and related organization)を添付いただき、そのご発表内容を共有する。

#### 5-3) デジタルアーカイブにおいて原資料を管理するための識別子について(資料 3)

#### 5-4) デジタルアーカイブ利活用のための記述に関する

##### 標準化委員会(WG1)発足について(資料 4)

上記 2 点についても、引き続き(資料 3)(資料 4)をもとに、事務局よりご説明いただき、国際図書館資料識別 ISO20247 の開発活動報告の経緯と今後の予定を共有する。また、WG1 の任務と期間(WD の完成まで)、構成について設置状況を確認した。

標準の骨子(案)について、目的やスコープについて討議する。デジタルアーカイブのバリエーションは、昨今の SNS の急速な普及に伴い、コピーライトの取り扱いは非常に大切なファクタとなる。権利や権限には、ID 管理についてもより大切になってくる。この中、標準に向けた「スコープ」定義は、難しい点もある。本標準の骨子に定義されている、利用促進に向けた望ましい記述と表示方法のガイドラインを与えるスコープは、適切、かつ良いものだと確認できた。

#### 5-5) 平成 27 年度 ISO/TC46/SC11 投票報告(資料 5)

(資料 5)により、平成 27 年度平成 27 年度 ISO/TC46/SC11 投票報告済案件の確認を行う。

資料修正 表題「平成 27 年度 ISO/TC46/SC9 投票済案」→「平成 27 年度 ISO/TC46/SC11 投票済案」と誤植を修正（SC9→SC11）投票済内容を確認する。主だったコメントはなし。

5-6) 平成 27 年度 ISO/TC46/SC11 投票審議案件（資料 6）

- ・No1 FDIS ISO/FDIS 15489-1 (Ed2)は審議の結果、DIS へのコメントの回答を了承し賛成として、回答案を作成し 2 月 2 日までに事務局に送付する。
- ・No2 ISO/DIS 17068 (TTPR)はコメント付き賛成としてきたが、途中 TR から DIS に変更され、国内規定には関係がないため棄権として、原案を作成し 2 月 17 日までに事務局に送付する。
- ・No3 SR ISO16175-1:2010 は国内での適用は明らかでないが、オーストラリアやフランス等での適用が知られているためコンファーム(継続)とし、指定項目について審議結果に従い回答案を作成し、3 月 10 日までに事務局に送付する。
- ・No4 SR ISO16175-2:2010 は国内での適用は明らかでないが、オーストラリアやフランス等での適用が知られているためコンファーム(継続)とし、指定項目について審議結果に従い回答案を作成し、3 月 10 日までに事務局に送付する。
- ・No5 SR ISO16175-3:2010 は国内での適用は明らかでないが、オーストラリアやフランス等での適用が知られているためコンファーム(継続)とし、指定項目について審議結果に従い回答案を作成し、3 月 10 日までに事務局に送付する。

5-7) 2016年 ISO/TC46 ニュージーランド総会(2016/5/9-13)について（資料 7）

代表を送る方向で検討をお願いした。

5-8) 今後の標準化について（資料 8）

前回の「今後の SC11 からの提案について」と関連し、保坂委員長作成の書式を基に作成のイメージ合わせを行い、3 月末までに各委員から 1 件作成することとし、候補テーマを早めに保坂委員長に（各委員に CC として）送付することになった。

5-9) その他

委員から 15489-1 改訂の翻訳分の扱いについての取り扱い状況の確認があり、保坂委員長が、ワークシートで 15489-1/2 の 2 枚改訂版との関係も含め作成し委員に配布する。

(以上)